

# 感染症ひとくち情報

感染性胃腸炎（ノロウイルス等）にご注意ください

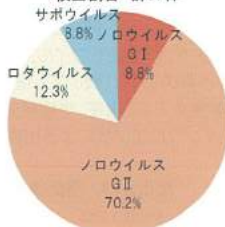


2016年11月24日  
東京都健康安全センター

## 1 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには「ノロウイルス」「サポウイルス」「ロタウイルス」「アデノウイルス」などがあり、主な症状は、腹痛、下痢、おう吐、発熱です。

2015-16シーズン ウイルス別  
検出割合 計57件

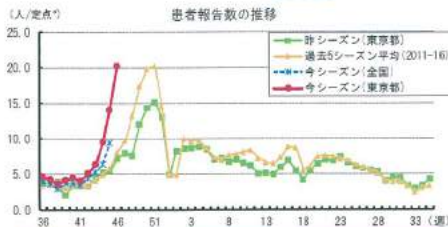


## 2 季節的に流行します

感染性胃腸炎は、例年、10月から増加し、12月頃をピークとして3月まで多発します。感染性胃腸炎の原因として最も多いものがノロウイルスです。

カキなどの二枚貝がノロウイルスを取り込んで蓄積し、これを生あるいは加熱不十分なまま食べて感染するほか、ノロウイルスに感染した調理従事者が汚染源と考えられる事例が多数報告されています。

また、食品以外の感染経路による大規模な集団感染も発生することがあります。



※定点医療機関:患者が多い疾患を把握するために受診患者数を報告している都指定の医療機関

※シーズン:感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年、第36週(8月末~9月初旬)から翌年の第35週までの1年間を感染性胃腸炎の流行シーズンとして情報提供を行っています。2016-2017シーズンは2016年9月5日から2017年9月3日までです。

## 3 予防のポイント

どのウイルスであっても予防のポイントは変わりありません。

- こまめな手洗いを習慣づけましょう。特に排便後、調理や食事の前には、その都度、石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。
- おう吐物やふん便を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)で処理しましょう。処理をした後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。(施設では処理用具のセットを予め準備しておきましょう。)
- ノロウイルスはカキなどの二枚貝に潜んでいることがあります。調理する際は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心温度 85~90℃で少なくとも90秒間の加熱が必要です。)

※ 都内のノロウイルスの検出状況や、今年の流行状況をお知りになりたい場合は、東京都感染症情報センターの「感染性胃腸炎」のページをご参照ください。

感染性胃腸炎 東京都

検索



# ほっとニュース

発行:社会医療法人 一成会 木村病院/企画広報室

社会医療法人 一成会 理念



## 新年あけましておめでとうございます

社会医療法人一成会理事長・木村病院院長 木村 厚

新年明けましておめでとうございます。

天候に恵まれ、暖かい、穏やかなお正月でした。木村病院では、元旦が荒川区医師会の休日当番医になっていましたので院長の私と当直医の2名体制で、診療を行いました。検査科、放射線科、看護師、医事課も通常の休日以上に手厚く配置し、万全の体制で患者さんをお迎えしました。47人の診察を行い、2人入院になりました。皆さんが、楽しんでいるお正月に病氣や怪我で不安になっている方のお役に立て、日常の2次救急以上に地域医療の責任を果たせ良かったと思います。



当院もいよいよ、2月中旬から電子カルテシステムを導入する運びとなりました。訪問看護ステーションみどり・わかばではすでに2年前からIT化は始まっていましたが、病院も時代の流れに即して新たなチャレンジです。大きな病院、診療所やクリニックでは導入しているところが増えていますが、当院のような200床以下の中小病院ではまだ、17%くらいの普及率と言われています。このシステム導入によって、医療安全の向上、業務の効率化が図れると考えています。今、職員はスムーズな移行を目指して一生懸命練習しております。とはいえ、当分の間は、不慣れなことから皆様をお待たせするような事態が起きるかもしれません。ご理解とご容赦をお願いいたします。

今回の院外報 52号の特集は、感染症を取りあげました。この冬、感染性胃腸炎やインフルエンザが、猛威をふるっています。厚労省のホームページの抜粋を分かりやすく提供し、当院の取り組みも紹介しています。当院では、入院患者さんからインフルエンザの症状が出た場合、蔓延を防ぐため、面会禁止などの対応策が決まっています。その際は、どうぞご協力をお願いいたします。そして、咳エチケット、手洗い、うがい、マスクの着用等もよろしくをお願いいたします。

皆様にとって2017年が健やかで楽しい年でありますようお祈りしています。





# インフルエンザのQ&A



## インフルエンザを予防する有効な方法

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 手洗いやアルコール製剤による手指衛生
- ③ 感染を広げないための咳エチケット

木村病院では、院内感染予防のため、東京都と当院の陽性者数によって院内警報を出し、**マスク着用・面会制限**等の基準を設けています。

院内で入院患者にインフルエンザ陽性者が複数名発生した場合、**面会禁止**を行うことになっています。掲示にご注意ください。

## Q1：インフルエンザと普通の風邪はどう違うのですか？

	風邪	インフルエンザ
症状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状	38℃以上の発熱や咳、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状
流行の時期	1年を通してひくことがある	1月～2月に流行のピーク。ただし、4月・5月まで散発的に流行することもある

インフルエンザにかかるとお子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

## Q2：インフルエンザと新型インフルエンザはどう違うのですか？

A型のインフルエンザはその原因となるインフルエンザウイルスの抗原性が小さく変化しながら毎年世界中のヒトの間で流行しています。これが季節性インフルエンザです。一方、新型インフルエンザは、時としてこの抗原性が大きく異なるインフルエンザウイルスが現れ、多くの国民が免疫を獲得していないことから、全国的に急速に蔓延することによって起こります。新型インフルエンザは、いつどこで発生するのかわかり、誰にも予測することは困難です。しかし、ひとたび発生すれば、国民の生命及び健康、医療体制、国民生活や経済全体に大きな影響を与えかねません。

## Q3：インフルエンザの治療薬にはどのようなものがありますか？



症状がある間は水分の摂取も必要です。汗をかいたときや脱水症状の予防のためにもこまめに水分を補給しましょう。

タミフル	リレンザ
ラビアクタ	イナビル

など

## Q4：インフルエンザにかかったら、どのくらいの期間外出を控えればよいのでしょうか？

一般的に、インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は鼻やのどからウイルスを排出するといわれています。そのためにウイルスを排出している間は、外出を控える必要があります。排出されるウイルス量は解熱とともに減少しますが、解熱後もウイルスを排出するといわれています。排出期間の長さには個人差がありますが、咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、不織布製マスクを着用する等、周りの方へ移さないよう配慮しましょう。参考までに、現在、学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ、解熱したあと2日を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。

たとえば、発症後4日目に解熱した場合（小学生以上）



## Q5：ワクチンの接種を受けたのに、インフルエンザにかかったことがあるのですが、ワクチンは効果があるのですか？

インフルエンザにかかる時はインフルエンザウイルスが口や鼻から体の中に入ってくることから始まります。体の中に入ったウイルスは次に細胞に侵入して増殖します。この状態を「感染」といいますが、ワクチンはこれを完全に抑える働きはありません。ウイルスが増えると、数日の潜伏期間を経て、発熱やのどの痛み等のインフルエンザの症状が起こります。この状態を「発症」といいます。ワクチンには、この発症を抑える効果が一定程度認められています。発症後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、入院治療を必要とする方や死亡される方もいます。これをインフルエンザの「重症化」といいます。特に基礎疾患のある方やご高齢の方では重症化する可能性が高いと考えられています。ワクチンの最も大きな効果は、この重症化を予防する効果です。

## Q6：インフルエンザ重症化のサインとは？ すぐに医療機関を受診しましょう。

<b>大人の場合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 呼吸困難、または息切れがある</li> <li>● 胸の痛みが続いている</li> <li>● 嘔吐や下痢が続いている</li> <li>● 症状が長引いて悪化してきた</li> </ul>	<b>子供の場合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 痙攣したり、呼びかけに答えない</li> <li>● 呼吸が早い、苦しそう</li> <li>● 顔色が悪い(青白)</li> <li>● 嘔吐や下痢が続いている</li> <li>● 症状が長引いて悪化してきた</li> </ul>
---	---

このインフルエンザQ&Aは、厚生労働省ホームページからの抜粋です。

厚生労働省 インフルエンザQ & A

検索

詳しくはこちらをご覧ください。